

災害への備え

災害時、ペットを守ることができるのは飼い主だけです。まず飼い主が無事でいられるよう家具の転倒防止などの対策や避難場所、避難経路の確認などをおこなしましょう。

また、避難所では、大勢の人やペットと集団生活を送ることになります。動物アレルギーの方や動物が苦手な方もいます。飼い主とペットが別々の場所で生活することも十分考えられます。周囲の人の迷惑にならないよう、ペットが安全に生活できるよう日頃からの備えが大切です。

1 所有者明示

災害時の混乱で、迷子になるかもしれません。鑑札（犬の場合）、迷子札などをつけましょう。マイクロチップの装着も効果的です。

2 基本的なしつけ

むやみに鳴かない。
決められた場所で排泄する。
ケージに入ることを嫌がらない。
など日頃からしつけをおこなしましょう。

3 ペット用の防災用品の準備

右ページのリストを参考に、準備しておきましょう。

4 予防注射の接種やノミ、ダニなどの駆除

避難所にはたくさんの人やペットが集まるため、様々な病気がうつる恐れがあります。日頃から健康管理をおこなしましょう。

5 預け先の確保

避難所によってはペットの受け入れが難しい場合や、飼い主が負傷したなどの理由で飼育できない場合もあります。事前に預け先を探しておきましょう。

ペットの防災用品リスト

- ペットフード・水
(少なくとも5日分、できれば7日以上を用意しておきましょう。)
- 薬・療法食
- 食器
- ケージやキャリーバッグ、リード
(移動時、避難時に使用します。)
※猫の場合洗濯ネットがあると保護・診察時に有用です。
- ペットシート、トイレ砂
- 排泄物の処理用具
(ビニール袋、トイレトーパー、スコップ等)
- 手入れ用品
(タオル、ブラシ、ウエットティッシュなど)
- おもちゃ

※この手帳は、防災グッズなどと一緒に保管しておきましょう。

※ペットの災害対策については、環境省HP
(http://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/1_law/disaster.html)も参考にしてください。

ペットの 防災手帳

災害時、ペットを守ることができるのは飼い主だけです。日頃から準備をおこなしましょう。



津 市

津市環境部環境保全課

TEL 059-229-3282

FAX 059-229-3354

